

おばあちゃんの手

3年 物語文 8番

名前

夏休み、みさきは、田んぼにかこまれたおばあちゃんの家にとまりにきた。よく晴れた朝、二人はいっしょに台所に立って、朝ごはんを作ることにした。

「みさき、たまごをわってくれる？」おばあちゃんが、やさしく言った。みさきは、おばあちゃんの手をふと見て、思わず言ってしまった。「おばあちゃんの手、しわしわだね。」言ってから、みさきは、はっとして下を向いた。しつれいなことを言ってしまったと思ったのだ。

けれども、おばあちゃんは、にこにこわらって、自分の手を見せてくれた。「この手はね、長いあいだ、はたけをたがやして、やさいを育ててきたんだよ。みさきのお父さんが小さいころは、この手でごはんを作って、せなかをさすってあげたのさ。」おばあちゃんの手には、いくつものしわと、小さなきずのあとがあった。みさきは、その一つ一つが、家ぞくのためにはたらいてきたしるしなのだと気づいた。

みさきは、そっとおばあちゃんの手をにぎった。あたたくて、少しごつごつした手だった。「おばあちゃん、その手、すぐすてきだよ。ありがとう。」みさきがそう言うと、おばあちゃんの目が、うつすらとうるんで光った。二人の作った朝ごはんは、いつもよりずっとおいしかった。



School Stock 『おばあちゃんの手』より

(1) この物語は、いつ・どこでのお話ですか。文しよの言葉を使って書きましよう。

(2) 「おばあちゃんの手、しわしわだね。」と言ったあと、みさきが下を向いたのはなぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア ねむくなったから

イ しつれいなことを言ってしまったと思ったから
ウ おなかがすいたから
エ たまごをわりたくなかったから

(3) おばあちゃんの手やしわや小さなきずは、何のしるしだと、みさきは気づきましたか。文しよから書きぬきましよう。

(4) おばあちゃんの手をにぎったみさきは、その手をどのように思うようになりましたか。書きましよう。

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えば

「家ぞくのためにはたらく人に、ありがとうを伝えたいと思った。」

「手のしわに、これまでのがんばりがつまっていると感じた。」

おばあちゃんの手

解答

3年 物語文 8番

名前

夏休み、みさきは、田んぼにかこまれたおばあちゃんの家にとまりに来了。よく晴れた朝、二人はいっしょに台所に立って、朝ごはんを作ることにした。

「みさき、たまごをわってくれる？」おばあちゃんが、やさしく言った。みさきは、おばあちゃんの手をふと見て、思わず言ってしまった。「おばあちゃんの手、しわしわだね。」言ってから、みさきは、はつとして下を向いた。しつれいなことを言ってしまったと思ったのだ。

けれども、おばあちゃんは、にこにこわらって、自分の手を見せてくれた。「この手はね、長いあいだ、はたけをたがやして、やさいを育ててきたんだよ。みさきのお父さんが小さいころは、この手でごはんを作って、せなかをさすってあげたのさ。」おばあちゃんの手には、いくつものしわと、小さなきずのあとがあった。みさきは、その一つ一つが、家ぞくのためにはたらいてきたしるしなのだと気づいた。

みさきは、そっとおばあちゃんの手をにぎった。あたたくて、少しごつごつした手だった。「おばあちゃん、その手、すぐすてきだよ。ありがとう。」みさきがそう言うのと、おばあちゃんの目が、うつすらとうるんで光った。二人の作った朝ごはんは、いつもよりずっとおいしかった。



School Stock 『おばあちゃんの手』より

(1) この物語は、いつ・どこでのお話ですか。文しよの言葉を使って書きましよう。

(例) 夏休みに、おばあちゃんの家(の台所)でのお話。

(2) 「おばあちゃんの手、しわしわだね。」と言ったあと、みさきが下を向いたのはなぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア ねむくなったから

イ しつれいなことを言ってしまったと思ったから
ウ おなががすいたから
エ たまごをわりたくなかったから

(3) おばあちゃんの手やしわや小さなきずは、何のしるしだと、みさきは気づきましたか。文しよから書きぬきましよう。

家ぞくのためにはたらいてきたしるし

(4) おばあちゃんの手をにぎったみさきは、その手をどのように思うようになりましたか。書きましよう。

(例) 家ぞくのためにはたらいてきた、すてきな手だと思しようようになった。

(5) この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

(例) 家ぞくのためにはたらいてくれる人に、感しよの気持ちをつたえたいと思した。

例えは

「家ぞくのためにはたらく人に、ありがとうを伝えたいと思した。」

「手のしわに、これまでのがんばりがつまっていると感した。」

解答・解説 おばあちゃんの手（3年・物語文）

問1 （例）夏休みに、おばあちゃんの家（の台所）でのお話。

はじめの段落に「夏休み」「おばあちゃんの家にとまりに来た」「台所に立って」とあります。いつ・どこを表す言葉に注目します。

問2 イ

「しつれいなことを言ってしまったと思ったのだ」とはっきり書かれています。「はっとして」という言葉も、気づいておどろいた様子を表します。

問3 家ぞくのためにはたらいてきたしるし

三つ目の段落の終わりから書きぬきます。おばあちゃんが手でしてきたこと（畑仕事・子育て・料理）が手がかりです。

問4 （例）家ぞくのためにはたらいてきた、すてきな手だと思うようになった。

「その手、すごくすてきだよ。ありがとう。」という言葉から、みさきの気持ちの変化を読み取ります。

問5 （例）家ぞくのためにがんばってくれる人に、感しゃの気持ちをつたえたいと思った。

みさきの気持ちの変化と、自分の体けんや気持ちを結びつけて書けていれば正かいです。